

## 第2期佐久市まち・ひと・しごと創生総合戦略の 進行管理について

### 1 総合戦略について

- (1) まち・ひと・しごと創生法の施行を受け、平成27年10月に「佐久市人口ビジョン」、「佐久市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定
- (2) その後、第1期総合戦略(平成28年度から令和元年度まで)期間中の施策の検証を踏まえ、第1期総合戦略に基づく事業を今後も着実に推進し、切れ目ない取組を進めるため、「第2期佐久市まち・ひと・しごと創生総合戦略」(令和2年度から令和6年度まで)を策定。併せて、最新の人口の将来推計に基づき、人口ビジョンを改訂(「令和元年度改訂版佐久市人口ビジョン」)
- (3) 人口ビジョンで描く市の人口の将来展望を踏まえ、4つの基本目標とともに、必要な重要業績評価指標(KPI)を設定し、総合戦略に基づき事業を実施
- (4) 令和3年7月には、新型コロナウイルス感染症による影響により、社会経済情勢が大きく変化していることを踏まえ、「第2期佐久市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を改訂

#### ※ 総合計画との関係性

総合計画は市の最上位計画として市の全ての施策の方向性を定めるものである一方、総合戦略はそのうち人口減少への対応に特化したもの。総合戦略は、総合計画の方向性に沿って人口減少対策を詳細に戦略建てしているものであり、総合計画に内包される性格のもの。

### 2 総合戦略の進行管理について

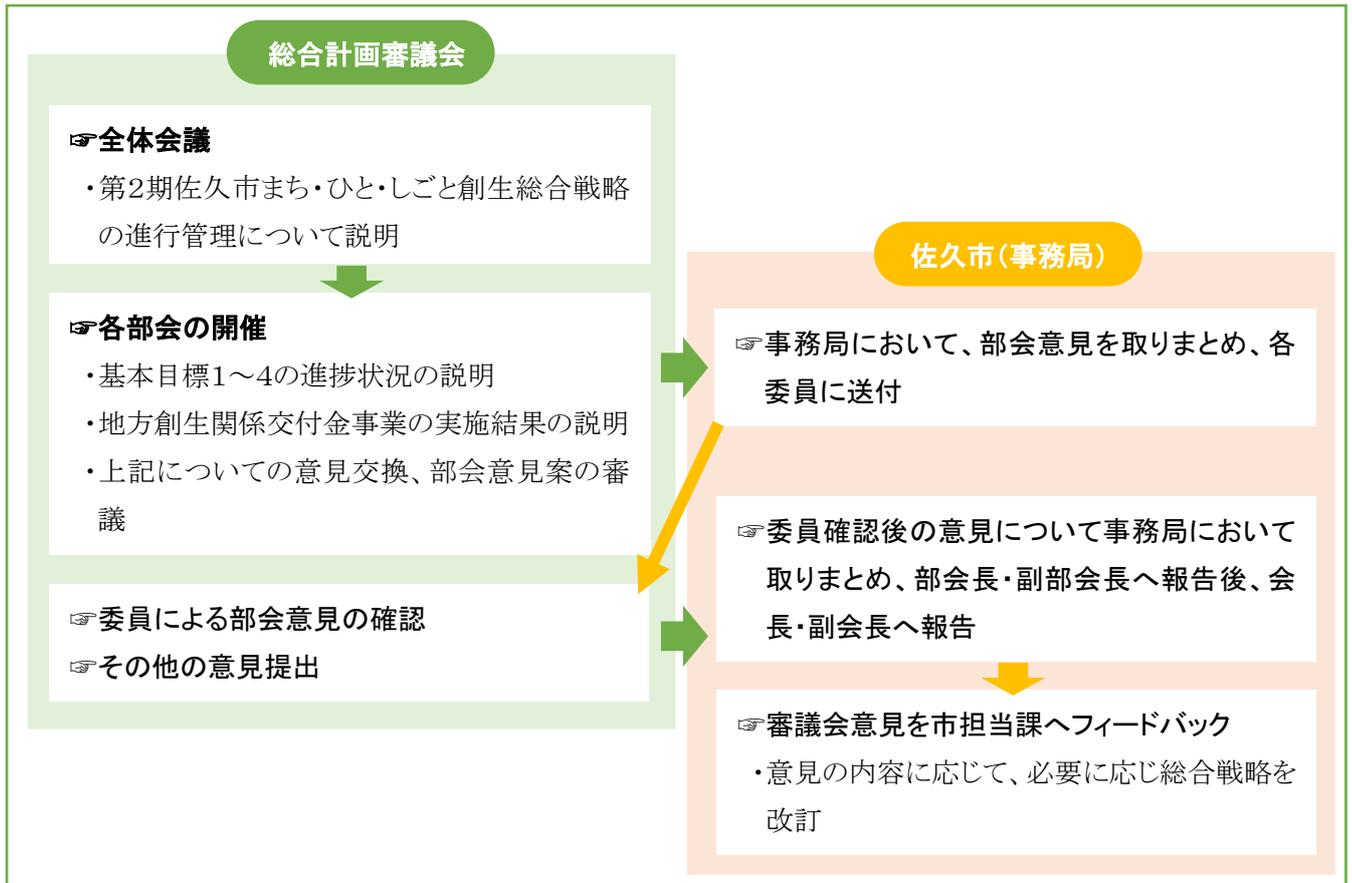
- (1) 総合戦略に基づく事業を着実に推進するため、PDCAサイクルを確立し、毎年度、外部有識者等に評価を実施していくことが求められている。
- (2) 総合戦略に掲載された数値目標及び重要業績評価指標(KPI)の進捗状況の評価を行い、結果を公表していく。
- (3) 有識者会議については、佐久市総合計画審議会とする。

### 3 審議対象【令和2年度分の評価】

4つの基本目標及び重要業績評価指標(KPI)の進行管理における分析、方針等について意見をいただく。

### 4 会議の流れ

評価結果については、管理する指標の数が多いことから、部会を設置し、評価結果について意見をいただく。



## 5 部会設置について

審議の円滑化のため、進行管理は、3部会において審議する。

部 会	総合戦略 基本目標担当分野
第1部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【基本目標1】 選ばれる暮らしやすさを更に高める、佐久市における「まち」の創生</li> </ul>
第2部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【基本目標2】 佐久市を知って、来て、住みたくなる、佐久市における「ひと」の創生</li> <li>・【基本目標4】 多様な職場、多様な働き方から始める、佐久市における「しごと」の創生</li> <li>・【地方創生推進交付金事業】</li> </ul>
第3部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【基本目標3】 結婚・出産に先んじて子育てのトップランナーを目指す、佐久市における「ひと」の創生</li> </ul>

# 第2期佐久市まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価方法

## 評価方法

- 総合戦略に基づき事業を着実に推進するため、PDCAサイクルを確立することが必要とされていることから、その進捗について評価し、今後の施策や事業の改善に活用
- 数値目標及び重要業績評価指標（KPI）の進捗状況を客観的に把握し、外部の視点も含めて評価を行い、その結果を公表

※ PDCAサイクルとは…

Plan（計画）、Do（実施）、Check（評価）、Action（改善）の4つの視点をプロセスの中に取り込むことで、プロセスを不断のサイクルとし、継続的な改善を推進するマネジメント手法のこと。Plan-Doとして効果的な地方版総合戦略の策定・実施、Checkとして地方版総合戦略の成果の客観的な検証、Actionとして検証結果を踏まえた施策の見直しや地方版総合戦略の改訂を行うことが求められる。



## 進捗状況

- 基本目標の数値目標及び重要業績評価指標（KPI）の進捗区分は、以下のとおり管理

順調	概ね順調	努力を要する	未公表	実績値なし
R2の実績値が目安値以上	R2の実績値が目安値の80%以上100%未満	R2の実績値が目安値の80%未満	統計調査結果が未公表のため、現時点では実績値が把握できない	・統計調査の実施がなく、今後も実績値が把握できない ・目安値・実績値がともに0の場合
※ 目安値：令和6年度（2024年度）の目標達成に向けて、指標が順調に推移しているかどうかの目安を表す値。多くの目標において、基準値から目標値に向かって均等に推移することを標準パターンとして設定。ただし、均等な推移が見込めない等これによりがたい場合は、その指標の特性を踏まえて目安値を設定。 ※ 進捗率 = (実績値 - 基準値) / (目標値 - 基準値) で算出				

## R2の進捗状況【数値目標】

<b>基本目標1</b> 選ばれる暮らしやすさを更に高める、佐久市における「まち」の創生	<b>基本目標2</b> 佐久市を知って、来て、住みたくなる、佐久市における「ひと」の創生	<b>基本目標3</b> 結婚・出産に先んじて子育てのトータルを先ず、佐久市における「ひと」の創生	<b>基本目標4</b> 多様な職場、多様な働き方から始める、佐久市における「しごと」の創生
○ 数値目標 「佐久市は住みやすい」と回答する人の割合 基準値：78.0%（R1（2019）） ➤ 目標値：80.0%（R6（2024））	○ 数値目標 人口の社会動態の増加数（計画期間の累計） 目標値：1,500人（R6（2024））	○ 数値目標 合計特殊出生率 基準値：1.59（H30（2018）） ➤ 目標値：1.77（R6（2024））	○ 数値目標 市内事業所の従業員数 基準値：40,237人（H28（2016）） ➤ 目標値：41,800人（R6（2024））
R2目安値 78.4%	R2目安値 300人	R2目安値 1.60	R2目安値 -
R2実績値 %	R2実績値 人	R2実績値	R2実績値